

肉用鶏農家へ向け講演を実施

6月27日に「飼養衛生管理に係る技術検討会」が京都府家畜畜産物衛生指導協会主催で開催され、肉用鶏農家を中心に飼料会社、府関係者等28名が出席しました。

当センターからは研究員2名が講師を務め、「鶏ふん堆肥を用いたペレット肥料の試作について」及び「待ち受け型病原体侵入防止資材(ヨドックス粒)の開発」の2課題について報告しました。出席者からペレット堆肥については、「地域循環型農業のモデルとして技術確立して欲しい」といった要望やヨドックス粒の散布方法等に関する質問があり、活発な意見交換が行われました。今後も本課題に限らず、試験研究成果を周知し、生産現場での活用につなげていきます。



成果を発表する研究員